

平成22年9月16日

各 位

株式会社 三井住友銀行

太田油脂株式会社に「環境配慮企業支援ファンド」を活用した融資を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」の趣旨に則り組成した「環境配慮企業支援ファンド」を活用し、太田油脂株式会社（代表取締役社長：太田 健介）に対し、融資を実施しました。

三井住友銀行では、従来より「SMB C環境配慮評価融資」に積極的に取り組んでおり、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づいた企業の環境配慮状況の評価することで、先進的な環境配慮経営を行っている企業に対して、積極的な支援を実施して参りました。

「環境配慮企業支援ファンド」は、従来の「SMB C環境配慮評価融資」の枠組みに、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」を活用することで、企業の環境配慮経営への支援、並びに日本経済の成長基盤強化への支援に、従来以上に取り組むことを目的に組成したものです。

今回対象となった太田油脂株式会社は、「環境負荷の把握の状況」「環境保全対策の取組と成果の状況」の面で非常に高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を行っているとの評価となりました。本ファンドは植物油脂製造工程で発生する残渣を肥料・飼料に、事業所や家庭で発生する廃食油等を回収しバイオディーゼル燃料に精製、販売するといった当社の資源循環サイクル型ビジネスに活用されることとなります。

なお、今回の太田油脂株式会社に行った「環境配慮企業支援ファンド」の活用は、東海地区では初となります。

三井住友銀行では、日本銀行の「成長基盤強化を支援するため資金供給」の趣旨を踏まえ、当行のノウハウ及び情報提供力を十分に発揮できる『環境』・『中国』等の分野を中心に、引き続き企業の活動を支援して参ります。



写真①油かすを原料とする有機肥料



写真②バイオディーゼル燃料製造プラント

以 上